



下野市とディーツヘルツタールは4月25日で姉妹都市締結50周年を迎えます！

(Shimotsuke und Dietzhölztal feiern am 4. April das 50 jährige Jubiläum des Städtepartnerschaftsabkommen)



■問い合わせ先 市民協働推進課 ☎(32)8887

ドイツ連邦共和国ヘッセン州ラン・ディル郡 ディーツヘルツタール



ディーツヘルツタールは、名前の由来となったディーツヘルツェ川(Die Dietzhölze)が流れ、山と渓谷、広大な森林地帯の中にある自然豊かな美しいまちです。フランクフルトから北西に約100kmの位置にあり、人口は約6,000人(下野市の約10分の1)、面積は約37平方キロメートル(下野市の約半分)です。

旧石橋町と姉妹都市を締結したシュタインブリュッケン(Steinbrücken)が1971年にエヴァースバッハ(Ewersbach)と合併し、1972年にマンデルン(Mandeln)が、そして1977年にはリッターズハウゼン(Rittershausen)が合併し、現在に至っています。



50年のあゆみ

下野市とディーツヘルツタールの交流は、それぞれが合併する前の昭和41(1966)年、旧石橋町と旧シュタインブリュッケンの時代に、獨協医科大学名誉学長、故・石橋長英博士の橋渡しにより始まりました。シュタインブリュッケンはドイツ語で「石橋」を意味し、同じ名前を持つ縁がきっかけでした。

両町小学生の絵画交換から始まった交流は、両町の代表者の親善訪問などを通して深まっていき、昭和50(1975)年4月25日、姉妹都市締結が行われました。

その後、市町村合併により、どちらも共通であった町名が変わってしまいましたが、交流を今後も継承していくため、平成21(2009)年に新たに姉妹都市締結の調印式を行いました。

それ以降も、3年ごとに実施される中学生相互派遣や、不定期に行われる親善訪問のほか、東日本大震災の際には義援金を送っていただくなど、継続的な交流が行われてきました。

今年は、姉妹都市締結50周年を記念して、記念コンサートや記念式典の開催などを予定しています。また、4月24日から28日にかけて、トーマス市長をはじめとするディーツヘルツタールからの訪問団が、市内に滞在する予定です。

記念コンサート

■日時 4月12日(土)

午後2時～4時

※事前申し込み不要。

■場所 グリムの館

■内容 バイエルン地方の伝統的なブラスミュージックなど

※詳しくは広報3月号P23参照。

■入場料 無料



交流のきっかけを作った
石橋長英博士(中央)



平成21年の調印式で握手する
両市の市長と議長



ドイツ人の国際交流員が市役所で
働いているのも、姉妹都市交流のため